

令和2年度 第1回 坂井輪図書館協議会 議事概要

I 開催概要

- 1 日時 令和2年7月14日(火) 午前10時～午前11時50分
- 2 会場 坂井輪地区公民館4階 講座室1
- 3 出席者
＜委員＞星野会長、郷副会長、田村委員、藤田委員、松尾委員、安田委員、
若井委員
＜事務局＞伊藤館長、小林主査、藤田主査、吉澤図書館司書、中村主査
＜傍聴者＞なし

II 次第

- 1 開会
- 2 館長あいさつ
- 3 議事
(1) 令和元年度 利用状況報告
(2) 令和2年度 事業計画及び予算について
(3) 図書館評価について
- 4 その他
(1) 第二次新潟市立図書館ビジョンについて
(2) 第三次新潟市子ども読書活動推進計画について
- 5 閉会

III 配付資料一覧

- 令和2年度 第1回 新潟市立坂井輪図書館協議会次第
- 資料1 令和元年度 西区図書館利用統計
 - 資料2 令和元年度 事業報告(坂井輪・内野・黒埼)
 - 資料3 令和元年度 西区図書館へ寄せられた市民の声
 - 資料4 令和2年度 事業計画(坂井輪・内野・黒埼)
 - 資料5 令和2年度 西区図書館予算一覧
 - 資料6-1 平成30年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート
 - 資料6-2 平成30年度 新潟市立図書館指標別評価シート
 - 資料6-3 令和元年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート ※参考提示
 - 資料6-4 令和元年度 新潟市立図書館指標別評価シート ※参考提示
 - 資料6-5 第二次新潟市立図書館ビジョン 令和2年度 評価シート
第二次新潟市立図書館ビジョン
第三次新潟市子ども読書活動推進計画

IV 主な意見・質問等

3 議事

(1) 令和元年度 利用状況報告

- (藤田委員) 西区図書館の貸出人数、貸出冊数はほぼ横ばい傾向であることが読み取れる。毎年このような感じなのか。それとも減少傾向なのか。
- (事務局) 横ばいながら、僅かずつ減少傾向である。
- (安田委員) 年代別の利用が分かれば、説明してほしい。
- (事務局) 年代別利用統計をまとめている。次回協議会までには、確定値が出ているのでお示しする。これまでの利用の傾向からいうと、子育て世代と10代までの子ども、退職後の年代の方の利用が多い。17時～19時の夜間及び日曜は、かつては開館していなかったが、開館するようになって、ビジネスマンの利用が増えたと感じている。
- (若井委員) 子育て支援センター、公民館のゆりかご学級への派遣は、施設からの依頼を受けて派遣しているのか。令和元年度は坂井輪図書館から坂井輪地区公民館のゆりかご学級への派遣がなかったが。
- (事務局) 各施設への職員派遣は、依頼に基づいて行っている。
- (郷副会長) 令和2年度事業計画の「おはなしのじかん」備考欄に、新潟市共通スタンプカード実施とある。これは、新型コロナウイルス感染予防のために事業などを自粛している中で、少しでも参加者を増やしたいということから共通カードに変更したのか。
- (事務局) 以前より「おはなしのじかん」ボランティアから「スタンプカードを共通のものにしてほしい」との要望があり、令和元年度に市内図書館の児童サービス担当者で検討し、令和2年度から全市共通スタンプカードに変更となった。新型コロナウイルス対策の一環で実施したのではない。
- (郷副会長) 公民館の家庭教育学級では、公民館の担当者が講座プログラムを作成するので、依頼があってはじめて図書館職員が派遣されるというのは理解できる。子育て支援施設への職員派遣で、令和元年度報告ではハッピーハート新大前と新通子育て支援センターへ派遣しているが、令和2年度はハッピーハート新大前への派遣がないのはなぜか。また、子育て支援センターに図書館職員の派遣について広報はしているのか。
- (事務局) ハッピーハート新大前は、団体貸出の利用団体で、これまでの利用で資料の破損等が見られたため、昨年度は「図書館資料の利用の仕方についてオリエンテーションをしましょうか」とお声がけし、それに合わせて絵本の読み聞かせも行った。新通子育て支援センターは、以前から団体貸出など図書館とのやり取りがあり、依頼を受けて職員を派遣したもの。子育て支援センター全体に向けての広報はしていない。支援センター全体への広報・派遣は現実としては難しい。今後の人員体制を含めて検討はしていきたい。

(2) 令和2年度 事業計画及び予算について

- (安田委員) 図書館ネットワークに関する予算はどの程度なのか。
- (事務局) オンライン関連(システム・Web)、物流(図書の搬送)は中央図書館管轄のため、坂井輪図書館の予算には計上していない。だいたい1億円程度の予算をオンライン関係に充てている。
- (田村委員) 限られた予算の中で、蔵書を購入していくためにどんな工夫をしているのか。
- (事務局) 選書会議を行い、2週に1回は中央図書館で全体会議を行って、資料の選定について検討している。郷土資料については、新聞などの情報を収集し、積極的に購入している。

4 その他

(1) 第二次新潟市立図書館ビジョンについて

- (藤田委員) 10ページの調査結果「図書館別の満足度分布傾向」を見ると、②本・雑誌の充実欄は、坂井輪図書館が0.8と、他の中心館より数値が低い。なぜか。11ページの坂井輪図書館は10年前の比較数値がない。なぜか。
- (事務局) 利用が市内で2番目に多いが、所蔵数は中心館の中で一番少ないため、本が回転し、書棚の空きスペースが多い。また、新しい資料から利用されるため、なおさら本や雑誌の満足度が低くなってしまっているのではないかと推察する。10年前は、坂井輪図書館は中心館ではなかったため、利用者満足度調査を実施しておらず、比較できる数値がない。
- (藤田委員) 貸出人数・貸出冊数が多いのに蔵書が少ないことが資料から読み取れる。予算配分のせいなのかもしれないが。そんな中で、いろいろなサービスを工夫していて素晴らしいと思う。今後がんばっていただきたい。